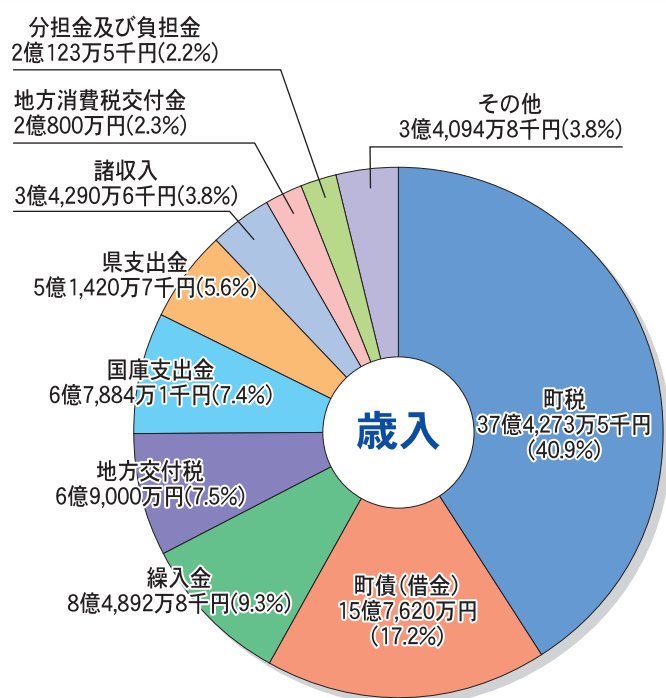


一般会計予算

前年度比13.7%増

新庁舎建設事業や町制60周年記念事業など



前年度と比べ増額となったものは、町債(借金)が6億2380万円の増、繰入金が2億9292万8千円の増などである。これらは、新庁舎建設に必要な財源を確保するためである。

反対に、前年度と比べ減額となったものは、地方交付税が4千万円の減、地方譲与税及び利子交付金が、ともに300万円の減などである。

歳入

前年度と比べ増額となったものは、総務費が13億8407万9千円の増、土木費が1億916万7千円の増などである。総務費は、新庁舎建設工事にかかる費用が計上され、土木費は道路新設改良事業費が増えている。反対に、前年度と比べ減額となったものは、民生費が3億8525万1千円の減、公債費が6706万9千円の減などである。民生費は、平成24年度に英比保育園の建設費が計上されたため、また、公債費(借金返済)は、償還が終了した事業があったためである。

歳出

